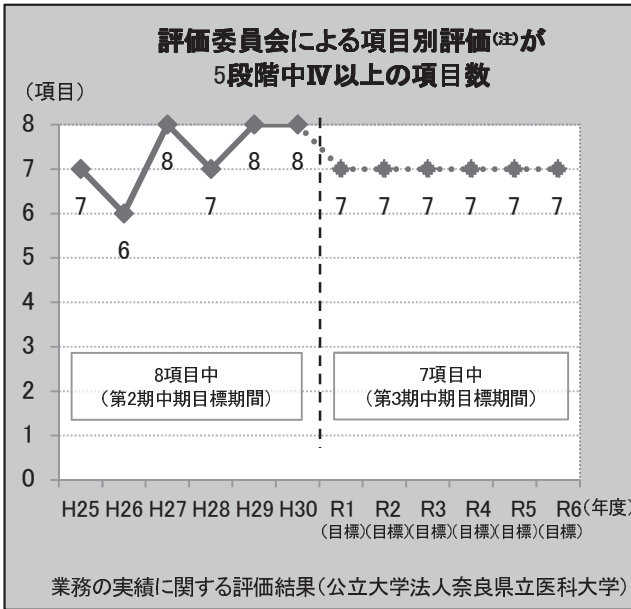


VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

坊	19. 教育の振興
テーマ	(105) 県立医大教育の充実、県立医大教育将来像の深化
目指す姿	令和6年度まで各年度の評価委員会による項目別評価について、全項目5段階中IV以上を維持します。

CC(チーフコーディネーター)
(105) 医療政策局次長 阪本 吉偉

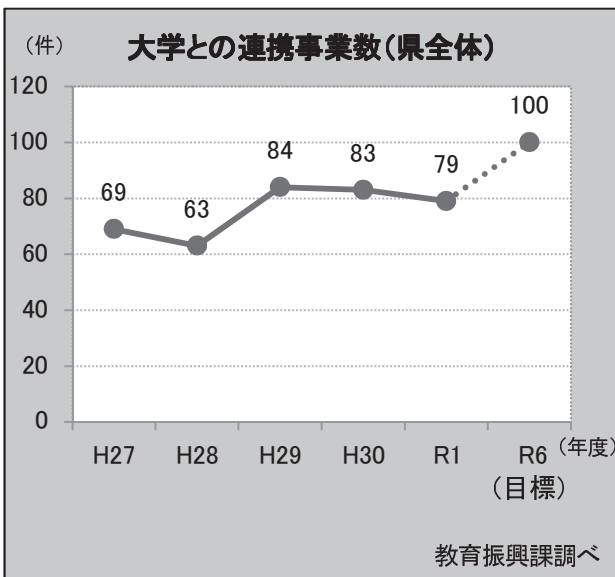


指標	評価委員会による項目別評価が5段階中IV以上の項目数(項目)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	7/8	↗	8/8	/	7/7維持
	H25(2013)	1項目	H30(2018)		R1~R6の6年間
地域企業等への研究成果の還元等の取組が評価され、平成30年度の業務実績に関する評価委員会による項目別評価(注)は、全ての項目で「IV:中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」となりました。 また、第3期中期目標期間初年度である令和元年度には、中期目標の実現に向けた県立医大の取組を進めるため、県と県立医大で定期的に会議を開催し、進捗状況の共有や課題の検討・協議を行いました。					

(注)評価委員会による項目別評価・・・地域貢献(教育)(研究)(診療)、教育、研究、診療法人運営の7項目を5段階評価(第2期(H25~H30))は、8項目)

坊	19. 教育の振興
テーマ	(106) 県と大学との連携、県立大学・県立医大と他大学との連携強化
目指す姿	令和6年度までに大学との連携事業数(県全体)を100件にします。

CC(チーフコーディネーター)
(106) 文化・教育・くらし創造部 教育振興課長 山口 真和



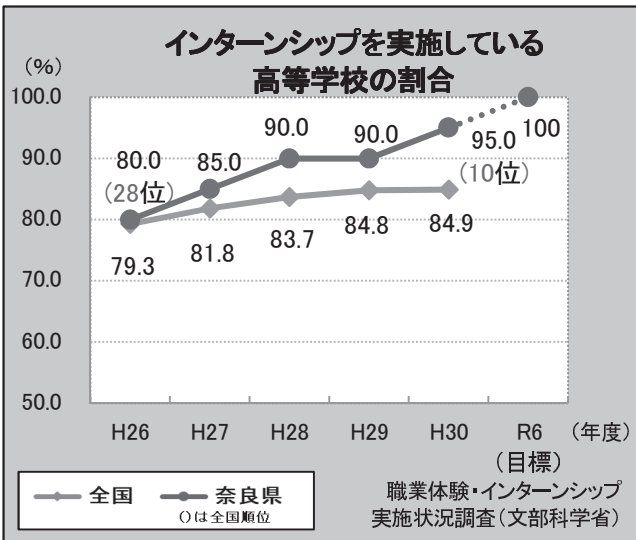
指標	大学との連携事業数(県全体)(件)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
進捗状況	69	↗	79	32.3%	100
	H27(2015)	10件	R1(2019)	4/9 年目	R6(2024)
目標達成に向け、早稲田大学・近畿大学をはじめとする大学との連携協定締結や連携に基づく事業の推進を図り、令和元年度の大学との連携事業数(県全体)は平成30年度からは4件減少し79件となりましたが平成27年度からは10件増加しており、今後も目標達成に向け取り組んでいきます。					

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

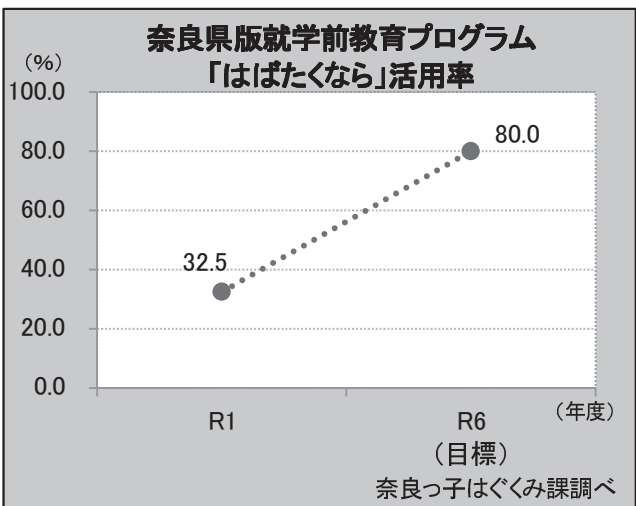
坊	19. 教育の振興	
テーマ	(107) 県立高校教育の充実	
CC(チーフコーディネーター)	(107)教育政策推進課長 熊谷 啓子	
目指す姿	令和5年度までに高等学校再編を完了し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。	進捗状況 「県立高等学校適正化実施計画」に沿って、適正化の対象となる各学校において教育内容検討チーム会議等を実施し、開校に向けてカリキュラムの検討を行っています。令和2年度に国際高校、令和3年度に奈良南高校、令和4年度に宇陀高校、令和5年度に国際中学校がそれぞれ開校します。

坊	19. 教育の振興		CC(チーフコーディネーター)
テーマ	(108) 実学教育の充実、インターシップの推進		(108) 教育委員会 学校教育課長 山内 祐司
目指す姿	令和6年度までにインターシップを実施している高等学校の割合を100%にします。		



指標	インターシップを実施している高等学校の割合(%)			
	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	80.0	95.0	75.0%	100
進捗状況	H26 (2014)	15.0ポイント	H30 (2018)	R6 (2024)
			4/10 年目	
目標達成に向けて、県内企業や連携企業等におけるインターシップの実施等、県立高等学校において実学教育の一環としてインターシップを実施してきました。平成30年度のインターシップを実施している高等学校の割合は平成26年度から15ポイント増加し、95.0%となり、全国順位は10位となりました。また、進捗率は75.0%で、目標達成に向けて順調に進捗しています。				

坊	19. 教育の振興		CC(チーフコーディネーター)
テーマ	(109) 就学前教育の充実		(109) こども・女性局 奈良っ子はぐみ課長 栗田 晃治
目指す姿	令和6年度までに、奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」活用率を80%にすることで、自尊心の向上を図ります。		



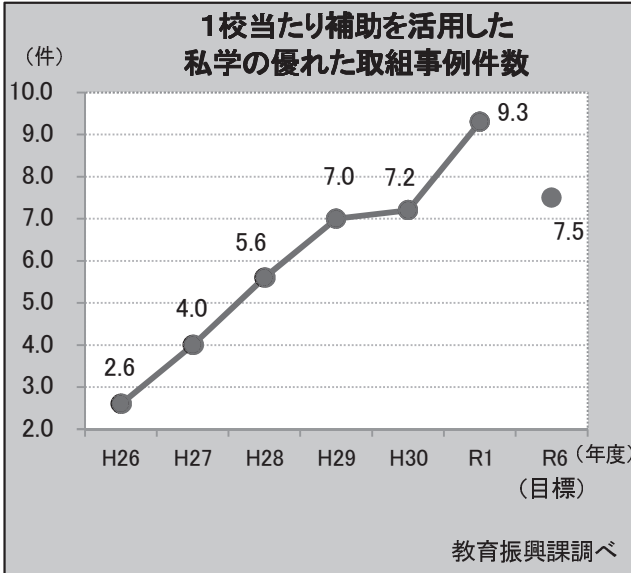
指標	奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」活用率(%)	
	基準値	目標値
	32.5	80
進捗状況	R1 (2019)	R6 (2024)
奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の活用促進に向けて、奈良県立教育研究所が開催する各種の研修等においてプログラムの紹介を行ったほか、「はばたくなら」の実践・普及のため、令和元年度実践事例集を作成しました。今後も目標達成に向けて取り組んでいきます。		

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

坊	19. 教育の振興
テーマ	(110) 私学の振興
目指す姿	令和6年度までに補助を活用した私学の優れた取組事例の件数を1校当たり7.5件にします。

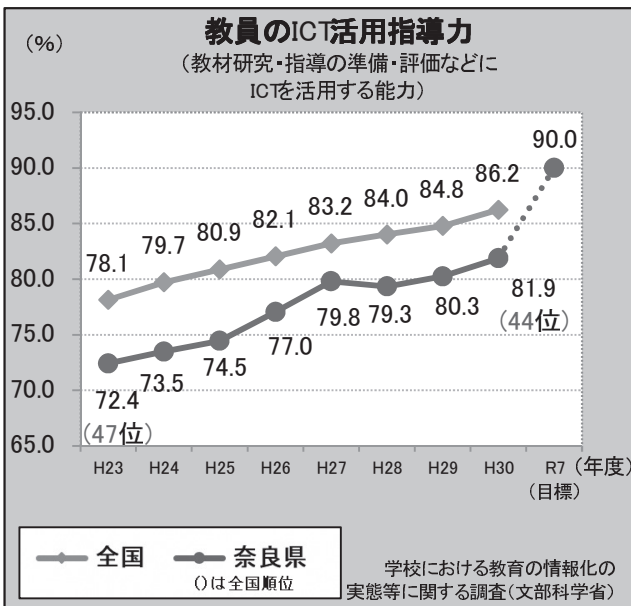
CC(チーフコーディネーター)
(110) 文化・教育・くらし創造部 教育振興課長 山口 真和



指標	1校当たり補助を活用した私学の優れた取組事例件数(件)			
	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	2.6	9.3	136.7%	7.5
進捗状況	H26 (2014)	6.7 件	R1 (2019)	5/10 年目
	R6 (2024)			
いじめ防止対策等、私学の優れた取組について、積極的な取組を促した結果、1校当たりの取組件数は、毎年増加しており、実績値は基準値から6.7件増加して9.3件となり、目標を5年早く達成しました。				

坊	19. 教育の振興
テーマ	(111) 教育ICTの推進
目指す姿	令和7年度までに教員のICT活用指導力(教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力)を90.0%にします。

CC(チーフコーディネーター)
(111) 教育委員会 教育研究所長 大石 健一



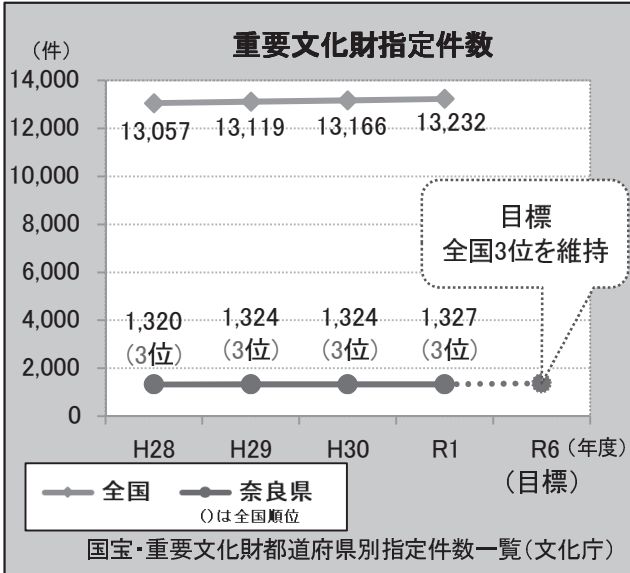
指標	教員のICT活用指導力(教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力)(%)			
	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	72.4	81.9	54.0%	90.0
進捗状況	H23 (2011)	9.5 ポイント	H30 (2018)	7/14 年目
	R7 (2025)			
各学校でのICT活用の活性化を目指し、STEAM教育エバンジェリスト(注)育成の拡大を図っており、その数は3年間で5倍となっています。また、各市町村教育委員会と連携しながらクラウドを活用した在宅教育の充実に向けて取り組んでいます。その結果、実績値は基準値より9.5ポイント増加して、進捗率は54.0%となり、順調に進捗しています。				
(注)STEAM教育エバンジェリスト…各教科での学習を実社会での問題解決に生かしていくための教科横断的なSTEAM教育を中心に、より質の高い教育活動を実践し、県内に広めることを目的とした研修リーダー				

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
テーマ	(112) 文化財の保存と活用
目指す姿	令和6年度に重要文化財指定件数全国3位を維持します。

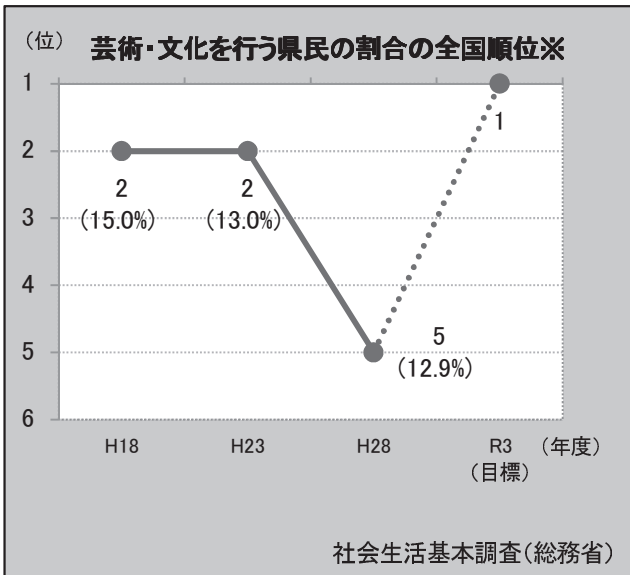
CC(チーフコーディネーター)
(112) 文化・教育・くらし創造部 文化財保存課長 石原 昌伸



指標	重要文化財指定件数(件)			
	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	1,320 (3位)	1,327 (3位)	全国3位を維持しました	全国3位を維持
進捗状況	H28 (2016)	7 件	R1 (2019)	R6 (2024)
			3/8 年目	
令和元年度も重要文化財指定件数は全国第3位を維持しました。引き続き、文化財建造物の修理工事現場の公開を行う等、文化財の保存と活用に取り組んでいきます。				

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
テーマ	(113) 文化財防災対策の構築 (114) 文化振興条例の制定
目指す姿	令和3年度までに芸術・文化を行う県民の割合を全国1位にします。

CC(チーフコーディネーター)
(113),(114) 文化・教育・くらし創造部 文化財保存課長 石原 昌伸



指標	芸術・文化を行う県民の割合の全国順位※(位)			
	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	15.0 (2位)	12.9 (5位)	順位を3下げました	全国1位
進捗状況	H18 (2006)	2.1 ポイント	H28 (2016)	R3 (2021)
			10/15 年目	
「ムジークフェストなら」等のイベント開催に精力的に取り組んだ結果、奈良県の芸術・文化を行う県民の割合は、全国でも上位となっています。引き続き、質の高いイベントを実施するとともに、芸術文化への参加・鑑賞の機会や活動の裾野を拡大します。				

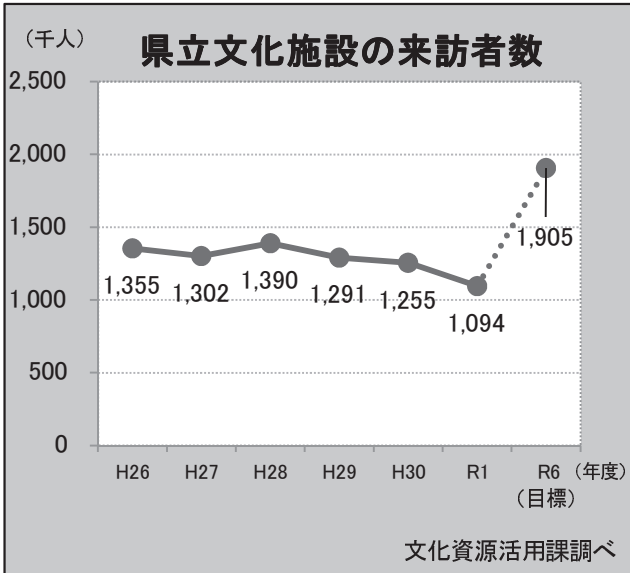
※は数値が低い方が良くなる指標です。

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
テーマ	(115) 文化クラスター事業・日本博事業への参加
目指す姿	令和6年度までに県立文化施設の来訪者数を1,905千人にします。

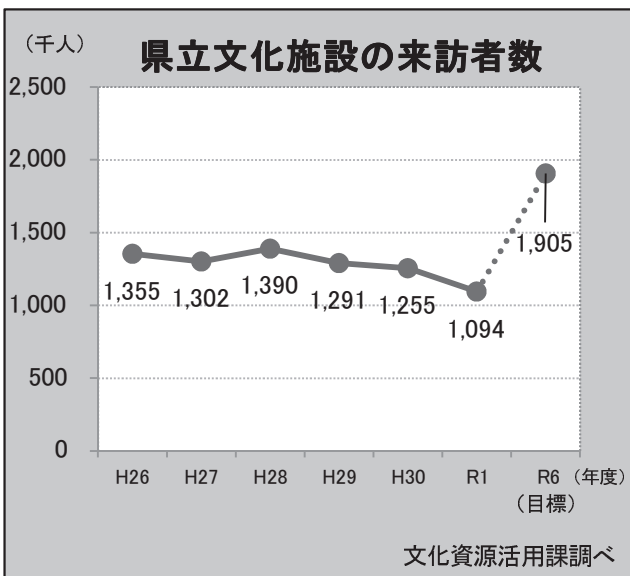
CC(チーフコーディネーター)
(115) 文化・教育・くらし創造部次長 建石 徹



指標	県立文化施設の来訪者数(千人)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	1,355	↘	1,094	▲47.5%	1,905
進捗状況	H26 (2014)	261 千人	R1 (2019)	$\frac{5}{10}$ 年目	R6 (2024)
	令和元年度は日本博事業へ参画、万葉文化館にてにぎわいフェスタ等を開催しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止による令和元年度2月末から令和2年度5月にかけての臨時休館の影響等により県立文化施設の来訪者数は減少しています。				

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
テーマ	(116) 記紀万葉プロジェクトのこれから
目指す姿	令和6年度までに県立文化施設の来訪者数を1,905千人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(116) 文化・教育・くらし創造部 文化資源活用課長 酒元 健司



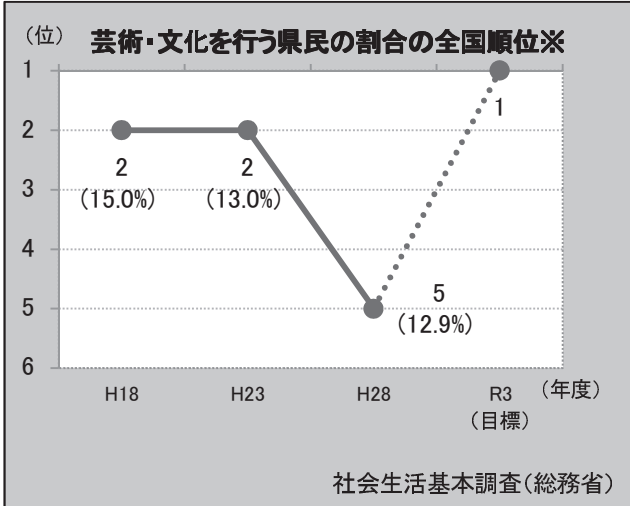
指標	県立文化施設の来訪者数(千人)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	1,355	↘	1,094	▲47.5%	1,905
進捗状況	H26 (2014)	261 千人	R1 (2019)	$\frac{5}{10}$ 年目	R6 (2024)
	元号改正や季節に応じたイベント等の開催に取り組みましたが、令和元年度の県立文化施設の来訪者は、新型コロナウイルスの感染拡大防止による臨時休館や、耐震・設備更新工事等による休館の影響等により減少しています。				

VI 智慧の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
テーマ	(117) なら歴史芸術文化村の活用策の検討
目指す姿	令和3年度までに芸術・文化を行う県民の割合を全国1位にします。

CC(チーフコーディネーター)
(117) 文化・教育・くらし創造部理事 平田 千江子



指標	芸術・文化を行う県民の割合(%)			
	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	15.0 (2位)	12.9 (5位)	順位を3 下げました	全国 1位
	H18 (2006) 2.1 ポイント	H28 (2016)	10 15 年目	R3 (2021)
進捗状況	「ムジークフェストなら」等のイベント開催に精力的に取り組んだ結果、奈良県の芸術・文化を行う県民の割合は、全国でも上位となっています。引き続き、質の高いイベントを実施するとともに、芸術文化への参加・鑑賞の機会や活動の裾野を拡大します。			

※は数値が低い方が良くなる指標です。

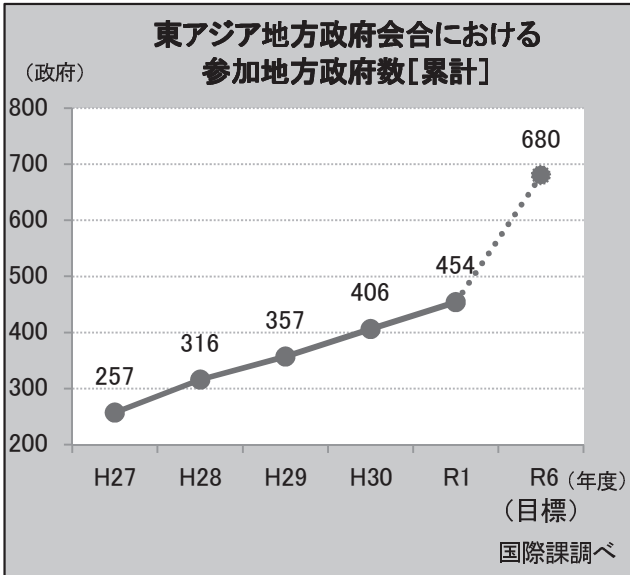
坊	20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興	
テーマ	(118) 研究勉強活動の充実強化	
CC(チーフコーディネーター)	-	
目指す姿	<p>今後も、様々な分野における新たな取組の実施等に向けた研究会や勉強会を設置・運営し、その成果を県政の発展に活かします。</p>	<p>【なら歴史芸術文化村構想等検討委員会】 芸術文化の振興、文化財の保存及び活用等に関し優れた識見を有する者で構成された委員会において、施設の基本構想、基本計画策定に寄与しました。更に、開村後の取組展開や運営体制等についても検討しました。 今後も引き続き検討委員会において議論を行っていきますが、「なら歴史芸術文化村ミッション」を新たに設置し、施設活用策の検討を体系的に進めます。</p> <p>【奈良県更生支援のあり方検討会】 当検討委員会における出所者の就労の場づくりや、「奈良県更生支援の推進に関する条例」に関する専門家の意見をもとに、令和2年2月定例県議会へ条例案と出所者の就労の場づくりを行う一般財団法人の設立・運営にかかる予算を上程しました。今後も引き続き、専門家の意見をいただき、県の更生支援施策の推進及び一般財団法人の運営について検討していきます。</p> <p>【奈良県税制調査会】 森林環境税、法人県民税特例制度について、課税期間が令和2年度で終了するため、奈良県税制調査会の答申に向けて、当調査会において必要な検討を開始しました。</p> <p>【奈良県総合教育会議】 年3回の会議を実施し、第1期奈良県教育振興大綱に関する評価・分析、第2期奈良県教育振興大綱の策定に向けた検討を行い、一定の方向性を決定しました。 今後、第2期奈良県教育振興大綱の策定に向け、同大綱の内容を充実させていくことを目的に、教育関係の有識者等との勉強会を開催するとともに、当会議においても議論を重ねます。</p>
進捗状況		

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

坊	21. 海外との交流展開
テーマ	(119) 東アジア地方政府会合の充実発展
目指す姿	令和6年度までに東アジア地方政府会合における参加地方政府数(累計)を680地方政府にします。

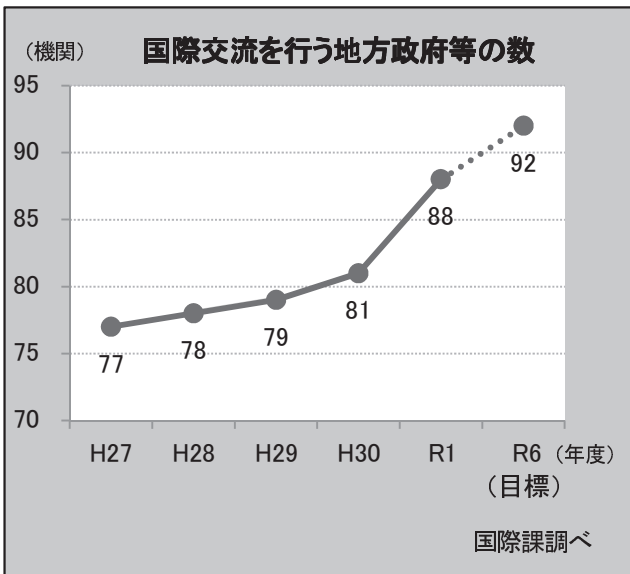
CC(チーフコーディネーター)
(119) 知事公室 国際課長 辻 祥子



指標	東アジア地方政府会合における参加地方政府数[累計](政府)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	257	↗	454	46.6%	680
進捗状況	H27 (2015)	197 政府	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)
	令和元年11月に奈良県で開催した第10回東アジア地方政府会合に、5カ国40政府が参加し、参加地方政府数の累計は454となりました。基準値である平成27年度の257政府から197増加し、進捗率は46.6%となっています。				

坊	21. 海外との交流展開
テーマ	(120) 既交流団体との交流強化、新たな交流団体との提携
目指す姿	令和6年度までに国際交流を行う地方政府等の数を92機関にします。

CC(チーフコーディネーター)
(120) 知事公室 国際課長 辻 祥子



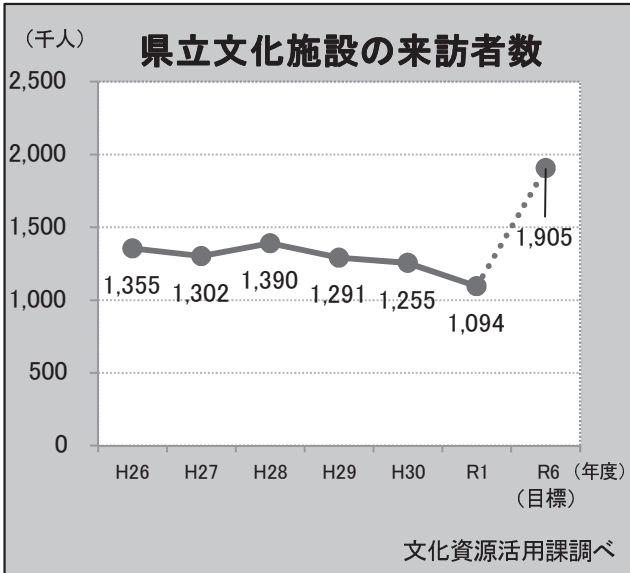
指標	国際交流を行う地方政府等の数(機関)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	77	↗	88	73.3%	92
進捗状況	H27 (2015)	11 機関	R1 (2019)	$\frac{4}{9}$ 年目	R6 (2024)
	令和元年8月の中国清華大学との覚書締結や東アジア地方政府会合会員への地方政府等の新規加入により、国際交流を行う地方政府等の数は、平成30年度から7増え、令和元年度には88機関となりました。基準値である平成27年度の77機関からは11増加し、進捗率は73.3%となっています。				

## VI 智慧の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

坊	21. 海外との交流展開
テーマ	(121) 奈良の仏像、文化財の海外展示のこれから
目指す姿	令和6年度までに県立文化施設の来訪者数を1,905千人にします。

CC(チーフコーディネーター)
(121) 文化・教育・暮らし創造部次長 建石 徹



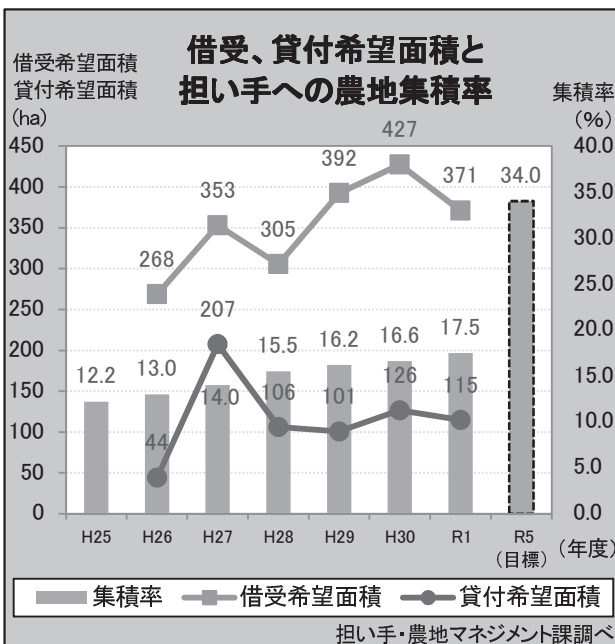
指標	県立文化施設の来訪者数(千人)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	1,355		1,094	▲47.5%	1,905
進捗状況	H26 (2014)	261 千人	R1 (2019)	5/10 年目	R6 (2024)
	奈良の歴史・文化に対する国際的認知度向上のため、平成30年度に続き、イギリス・大英博物館で「奈良－日本の信仰と美のはじまり」展を開催し、公開日数53日間で延べ約16万人の入場者に観覧いただきました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止による臨時休館の影響等により県立文化施設の来訪者数は減少しています。				

## VII 豊かな「都」をつくる

～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、森林を護る施策を進める～

坊	22. 農業・農地・農村・食と農の振興
テーマ	(122) 特定農業振興ゾーンの整備 (123) 農地マネジメントの推進
目指す姿	また、令和5年度までに担い手への農地の集積率を34%にします。

CC(チーフコーディネーター)
(122)、(123) 食と農の振興部次長 岡野 正明



指標	特定農業振興ゾーン <sup>(注)</sup> の設定地区[累計](地区)担い手への農地集積率(%)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
設置地区	6				10
	R1 (2019)				R6 (2024)
集積率	12.2		17.5	24.3%	34.0
	H25 (2013) ポイント	5.3	R1 (2019)	6/10 年目	R5 (2023)
進捗状況	平成30年度に地元合意の得られた1市3町6地区を特定農業振興ゾーンに設定し、令和元年度はゾーンに関する協定を締結しました。今後も目標に向け市町村と協働し、新たな地区設定を目指します。 農地中間管理事業により集積に取り組み、実績値は5.3ポイント増加しましたが、進捗率は24.3%と伸び悩んでいます。				

(注) 特定農業振興ゾーン…県内の農地を有効に活用し、農業の生産性の向上を図るために設定する地域で知事が定めるもの。